

経営戦略策定／使用料改定支援

中長期の経営シミュレーションに基づき、持続可能な下水道事業経営に向け、最適かつ実現可能性の高い下水道事業経営戦略の策定／改定を支援します。

●経営戦略の策定／改定

- ✓ 中長期（概ね50年間）を見据えたシミュレーションを実施し、将来にわたって持続可能な下水道事業に向けた経営戦略を策定します。
- ✓ 中長期の経営シミュレーションにより最適な経営シナリオを設定します。
- ✓ 設定した最適シナリオより直近10年間の経営戦略を策定します。
（平成29年度より高資本費対策経費に係る交付税措置は経営戦略策定が要件化）

表1. 経営戦略策定／改定の実施内容

工種	実施項目	実施内容	ポイント
中長期 財政見直し	①経営予測	現状の財政、現行計画（建設、改築等）による経営予測	<ul style="list-style-type: none"> 中長期見直しを把握するため、法適用後50年間の予測を実施 短期・中期・長期の傾向把握 経営指標導入により経営状況を他都市と比較し、定量的に評価
	②課題抽出と要因分析	経営予測結果の分析に基づく課題の抽出	<ul style="list-style-type: none"> 経営課題を抽出・整理し、要因分析を行うことで要因を明確化
	③施策検討	施策の検討、施策実行シナリオを 複数作成	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決する具体施策を抽出 実現性の高いシナリオ作成
	④経営シミュレーション	シナリオ毎の経営シミュレーションを実施 最適シナリオ選定	<ul style="list-style-type: none"> 各シナリオのシミュレーション結果を定量的に評価 実現可能な最適シナリオを選定 経営健全化の目標年度を明確化
経営戦略	⑤経営戦略策定	経営戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> 最適シナリオの短期計画(10年)を反映し、中長期計画と整合
ロードマップ	⑥ロードマップ策定	経費回収率向上に向けたロードマップ策定	<ul style="list-style-type: none"> 取組み事項、スケジュール整理 実現可能な業績目標の設定

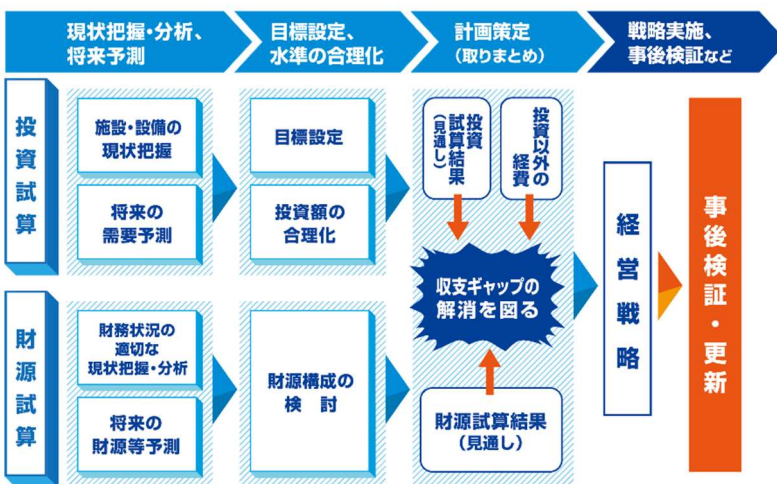


図1. 経営戦略策定／改定フロー

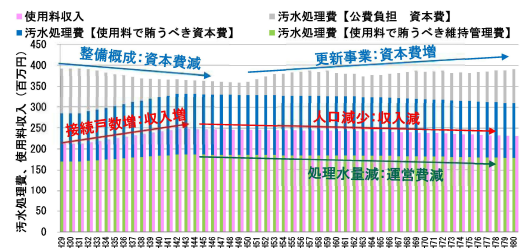


図 中長期財政シミュレーション（現状）

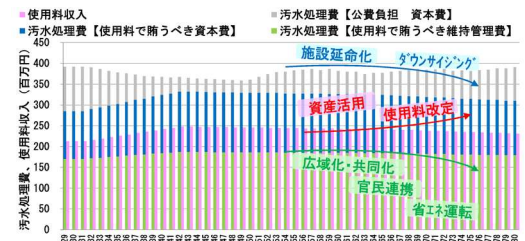


図2. 経営戦略による収支ギャップ解消イメージ

●使用料改定支援

使用料適正化の各種検討、下水道使用料改定に係る審議会等の運営支援により、円滑な使用料改定を実現します。

■下水道使用料の適正化検討の必要性

- ◆下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進についての留意事項
(令和2年7月22日 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課 事務連絡(抄))

公営企業会計を適用した地方公共団体において、以下のいずれかに該当する場合は、当該団体が行う汚水処理に関する事業について、社会資本整備総合交付金重点配分の対象としないこととします。

- ・ロードマップに定めた業績目標を達成できない場合
- ・令和7年度以降、供用開始後30年以上経過しているにも関わらず、使用料単価が150円/m³未満であり、かつ経費回収率が80%未満であり、かつ15年以上使用料改定を行っていない場合

※ロードマップ…『下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について』の経費回収率向上に向けた収支構造の適正化に係る具体的取組及び実施予定時期を記載したものを指す

■下水道使用料の適正化の支援内容

- 1) 「使用料金体系」の設定に関する検討や支援
 - ・事業間(公共、特環・農集等)の統一検討
 - ・制度の設定(基本水量制、二部使用料制、累進制など)
 - ・基本額の設定(固定費に対する充当率)
 - ・従量額の設定(モデルケースで試算し、予定使用料収入を充たすかを調整)
- 2) 分析検証、留意点
 - ・住民の家計や企業誘致への影響を分析
 - ・近隣市町との比較検証
 - ・将来的にどこまで値上げが必要か
 - ・使用料で賄うべき費用(汚水処理費)は?
 - ・一般会計繰出金(基準外)の規模は?

基本料金	費用の大半は固定費であり、必要な費用は基本料金で回収したいところであるが、基本料金を上げると少量利用者の負担が重くなる
従量料金	収入を従量料金に依存すると、有収水量が減少すれば料金の値上げを検討せざるを得ないが、節水したにも関わらず料金の値上げとなると住民から理解を得にくい
逦増料金制	多量使用の抑制を目的に、逦増料金制を採用しているケースがあるものの、水使用料は減少傾向にあり、時代にマッチしなくなりつつある

図3. 下水道使用料体系の課題

■審議会・委員会運営支援の内容

- 1) 審議会・委員会の進行シナリオ・スケジュールの検討
- 2) 各種シミュレーションや根拠資料のとりまとめを作成
- 3) 事務局や委員選任の助言
- 4) 首長への答申(案)取りまとめ

【主な実績】

- ・愛知県西尾市
- ・石川県かほく市
- ・岐阜県飛騨市
- ・佐賀県玄海町



図4. 審議会の実施状況



地域創水で、地方創生を。

株式会社 **中央設計技術研究所**
Chuu Sekkei Engineering Co., Ltd

- 本社 〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号
JR金沢駅西第一NKビル7階
- TEL(076)263-6464(代) FAX(076)263-6922(代)
- URL <https://www.cser.co.jp/>